



プロが教える 安全登山講座

第3回



山は素敵だ。しかし危険がいっぱい！

登山研究の第一人者とプロガイドが、安全登山のコツをお教えます。

1 | 基調講演

安心登山と安全登山

講師：岩崎元郎氏(無名山塾主宰)

日時：2017年10月4日(水)18:00～19:30

会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店

参加費：無料

*終了後、著書の販売サイン会を行います

2 | 対談

すぐそこにある遭難事故

ゲストスピーカー：金邦夫氏(元警視庁青梅警察署山岳救助隊副隊長)

コーディネーター：小林千穂氏

(山岳ライター、日本山岳ガイド協会登山ガイドII、山指协会会员)

日時：2017年11月8日(水)18:00～19:30

会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店 / 参加費：無料

*終了後、著書の販売サイン会を行います

3 | 各論(机上講座と実技)

道迷い遭難と地図読みの基本

講師：木元康晴氏

(日本山岳ガイド協会登山ガイドIII、山岳ライター、山指协会会员)

[1] 机上講座

日時：2017年12月12日(火)18:00～19:30

会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店 / 参加費：無料

*終了後、著書の販売サイン会を行います

[2] 実技

日時：2017年12月17日(日)

場所：奥多摩・惣岳山

参加費：会員3,000円(jRO、労山、カモシカスポーツ、みろく)、
一般3,500円

4 | 各論(机上講座と実技)

気象遭難と天気図の基本

講師：上村博道氏

(日本山岳ガイド協会登山ガイドIII、気象予報士、山指协会会员)

[1] 机上講座

日時：2018年1月11日(木)18:00～19:30

会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店 / 参加費：無料

[2] 実技

日時：2018年1月13日(土)

場所：箱根・金時山

参加費：会員3,000円(jRO、労山、カモシカスポーツ、みろく)、
一般3,500円

5 | まとめ講演

安全で快適な登山の為に

講師：山本正嘉氏(鹿屋体育大学教授)

日時：2018年2月2日(金)18:00～19:30 / 会場：カモシカスポーツ山の店・横浜店 / 参加費：無料

*終了後、著書の販売サイン会を行います

お申込み

GoALPお申込みフォーム <https://goalp.com/atk3>

または、右のQRコードからお申込みください

お問合せ

山岳スポーツ指導協会 安全登山講座担当 安村淳 mgorilla@ma.ejnet.ne.jp



協賛：日本山岳救助機構合同会社 (jRO)



協力：カモシカスポーツ山の店・横浜店、GoALP-安心・安全登山のための情報コミュニティ (<https://goalp.com>)

後援：神奈川県勤労者山岳連盟、日本登山インストラクターズ協会

主催：山岳スポーツ指導協会 事務局：網中勝弘 aminaka@nifty.com

8月11日は「山の日」

第3回 プロが教える安全登山講座 講師のプロフィール

1 基調講演	安心登山と安全登山	2017年10月4日(水) 18:00~19:30
----------	-----------	---------------------------

講師

いわさき もとお
岩崎元郎氏



1945年東京生まれ。1963年昭和山岳会に入会し本格的な登山を始め、1970年に蒼山会を創立、1981年ネパール・ニルギニ南峰登山隊隊長、同年「無名山塾」を設立、登山者の育成を始める。1995年～1999年にかけてNHKテレビ「中高年の為の登山学」の講師を務め、百名山ブームの火付け役となる。日本の登山指導の第一人者で、現在は「登山者と登山指導者の育成」と「安心登山の啓蒙活動」を積極的に進めている。著書多数。無名山塾主宰/日本登山インストラクターズ協会会長。

2 対談	すぐそこにある遭難事故	2017年11月8日(水) 18:00~19:30
--------	-------------	---------------------------

ゲストスピーカー

こん くに お
金 邦夫氏



1947年山形県生まれ。高校時代から山に目覚め、東北の山々に登る。1966年警視庁警察官となり、1970年警視庁山岳会「クライム・ド・モンテローザ」を設立、谷川岳などの岩場や冬季クライミングに熱中し、ヨーロッパ三大北壁にも挑戦する。1977年ヨセミテの山岳救助研修に参加し、五日市警察署山岳救助隊などを経て、1994年から青梅警察署山岳救助隊副隊長として奥多摩に勤務、以後20年間奥多摩の山岳救助に専念する。2003年警視庁技能指導官(山岳救助技能)の指定を受け、警察功労賞、警視総監賞詞、警視総監賞など受賞多数。2008年定年退職後、嘱託員(山岳指導員)として後輩の指導に当たり、2013年山岳救助隊を退任、現在は安全登山の啓蒙・指導に当たる。著書に「奥多摩登山考」(東京都公園協会等)、「金副隊長の山岳救助隊日記」(角川学芸出版)、「すぐそこにある遭難事故」(東京新聞社)など。日本山岳会会員。

コーディネーター

こばやし ちほ
小林千穂氏



山好きの父親の影響で子供の頃から山に親しみ、里山から雪山、岩登り、海外登山まで、幅広く登山活動を行う。2014年の南米チンボラソ6310m、コトパクス5896m登頂をはじめ、アメリカやネパールの山にも足を運ぶ。山小屋従業員、山岳写真家のアシスタントを経て編集プロダクションに入社し、現在はフリーの山岳ライター・編集者として活躍。雑誌「山と溪谷」「ワンダーフォーゲル」などに寄稿多数、最近はNHKなどテレビの山番組でも活動をしている。著書に「もっと楽しむ山登り」「失敗しない山登り」(講談社)、「女子の山登り入門」(学研パブリッシング)、「DVD登山ガイド穂高」(山と溪谷社)など。山岳ライター・編集者/(公社)日本山岳ガイド協会登山ガイドII/山岳スポーツ指導協会会員

3 各論	道迷い遭難と地図読みの基本	[机上] 2017年12月12日(火) 18:00~19:30 [実技] 12月17日(日)
--------	---------------	--

講師

きもと やすはる
木元康晴氏



1966年秋田県生まれ。1989年に友人に誘われて登った八ヶ岳に感激し、1990年に都岳連加盟山岳会に入会し、本格的に登山に取り組む。岩登り、沢登り、雪山を好み、国内では主に上越・中部山岳の山々に登り、海外では南米フスカラン6768mやアメリカ・レーニア山4392mの登山や、韓国インスポンの岩登りなどを行う。また、2006年～2012年には鳥取県に在住し、伯耆大山などで数々の遭難救助にかかわる。登山技術を分かり易く解説する事や日本各地の知られざる良い山々に精通し、雑誌「山と溪谷」「岳人」などを始め、各種山岳雑誌に寄稿多数。著書に「山のエマーゼンシー」(山と溪谷社)他がある。(公社)日本山岳ガイド協会登山ガイドIII/山岳ライター/(公社)東京都山岳連盟海外委員/山岳スポーツ指導協会会員。

4 各論	気象遭難と天気図の基本	[机上] 2018年1月11日(木) 18:00~19:30 [実技] 1月13日(土)
--------	-------------	--

講師

かみむらひろみち
上村博道氏



1965年東京生まれ。国内では北海道・積雪期日高山脈全山縦走、積雪期知床半島縦走など積雪期の縦走を主体とした山行を行い、海外ではエベレスト8848m、マッキンレー(デナリ)6194m、アコンカグア6960mの登頂から、カナダ・パフィン島1500kmスキー縦走などを行う冒険家タイプの登山家。ガイドで気象予報士として、山の天気と登山計画のかかわりを研究している。その数多い国内外の登山経験を基にした、分かり易い山の気象解説はとても好評。(公社)日本山岳ガイド協会登山ガイドIII/気象予報士/山岳スポーツ指導協会会員

5 まとめ講演	安全で快適な登山の為に	2018年2月2日(金) 18:00~19:30
-----------	-------------	--------------------------

講師

やまもとまさよし
山本正嘉氏



1957年横須賀生まれ。東京大学卒(教育学博士)、現在鹿屋体育大学教授、同スポーツトレーニング教育センター長、専門は運動生理学とトレーニング学で、日本の登山の運動生理学の第一人者。登山歴40年、シブリン6543m北壁初登攀、アコンカグア6960m南壁アルパインスタイル登攀、チョーオユー 8201m無酸素登頂、ムスターグアタ7546m低酸素トレーニングを活用したスピード登頂など。主著は「登山の運動生理学百科」「登山の運動生理学とトレーニング学」(いずれも東京新聞社)。2001年秩父宮記念山岳賞受賞。三浦雄一郎氏の70歳、75歳、80歳のエベレスト登山のトレーニングサポートを行う。